

テクノス通信 *Nursing*

8月
vol.63
2014

今月のテーマ 「ベッドコールをうまく活用し、安心・安全な療養環境を！」

対象者の離床を早い段階で報知するベッドセンサーは、コールマットの次に出荷台数の多いセンサーです。安心して長くお使い頂くために、今回は使用方法、設置方法などをご案内いたします！



ベッドコールはどういう人に効果的？

- ☑ ベッドからの離床が転倒につながる危険度の高い方
- ☑ 動きが素早く、コールマットでは対応が間に合わない方
- ☑ とにかく、ベッド上の動きをいち早く知りたい方



注意書きのプリント面が表面です！

上体を起こすと報知します！



ベッドコール設置について

① ベッドに対して横向き

② 肩から肩甲骨の下に設置



③ ベッドパッドとマットの間に設置



シーツ
ベッドパッド

— 設置時、3つのポイント —

- ① ベッドに対して横向きに設置
- ② 肩から肩甲骨にかけて設置
- ③ ベッドパッドとマットレスの間に設置

ベッドセンサーは、シーツの下側に設置しますので、使用している間に対象者の寝返りなどでズれる事があります。上記のポイントを参考に、設置箇所を定期的に確認してください！

ベッドセンサーの特長



センサーを折りたたみ、コンパクトに収納・移設！

滑り止めシート&ハトメでズレを防止！



こんな使い方は故障につながります



センサーに局所的な荷重をかけないでください。

局所的に大きな荷重がかかると、故障に繋がる可能性があります。ベッド上で作業をされる場合はセンサーを移動させてください。



ベッドセンサーを車いすに使用しないでください。

ベッドセンサーを車いすに使用すると、センサーが故障する可能性があります。車いすの立ち上がりを報知するには専用の「座コール」があります！



ギャッチアップの際、折り曲がる位置にセンサーを設置しないでください。

ギャッチアップの際にセンサーが折れ曲がり、故障に繋がる可能性があります。折り曲げ線以外での折り曲げは厳禁です。ご注意ください。



来月号もご期待ください。